

私が思う2025年の主な出来事

営業本部長 水之浦 英樹

1月 米大統領就任式(20日)、「アメリカ・ファースト」を掲げるトランプ政権が発足

日本への影響はマイナスに繋がる可能性があると言われています。特に自動車に対しての関税引き上げで大きく変わる可能性がある予想されます。但し、エネルギー価格を引き下げるため石油や天然ガスなどの化石燃料の増産を支援し、海外への輸出も増やす考えを示しておりそこはプラスに働いて欲しいものです。

3月 マイナンバーカードと運転免許証が一体化した「マイナ免許証」が運用開始

3月24日から全国で導入開始。メリットは更新手数料の割引や、優良ドライバーや一般ドライバーはオンライン講習が可能となり、時間を節約出来るのではないのでしょうか。とても興味深いです。

4月 大阪府夢洲で「大阪・関西万博」が開幕(4月13日～10月13日)

最大の見どころは1周2キロメートルの世界最大級の木造建築物「大屋根(リング)」。

高さ12～20メートル、幅30メートルあり、上を歩いて会場や大阪湾を見渡して見たいと思っています。万博は新しい技術や商品が生まれるきっかけになる事が多いので楽しみです。ぜひ会場に行きたいと思います。

7月 参議院議員の任期が満了。参議院議員通常選挙がそれまでに実施予定

自民・公明両党が、非改選も含め過半数を維持できるかどうか最大の焦点で、選挙結果によっては、その後の政治情勢に大きな影響を与えることも予想されます。SNSの活用が広がり、結果にもどう影響を与えるのでしょうか。今回、2025年夏の参院選の立候補予定者は選挙区と比例代表をあわせて183人だった。22年参院選での同時期の調査（171人）に比べ12人多いそうです。これもまたどうなるか興味深いですね。

9月 東京・国立競技場で「世界陸上競技選手権大会」が開催

9月13日(土)～21日(日)開催されます。世界中の観客が注目する100m決勝の瞬間、長距離走で繰り上げられる白熱したデッドヒート、そしてフィールド競技の新記録誕生など、見どころは盛りだくさんです。どの国がメダルを勝ち取るのか？そして日本代表選手たちが地元の声援を背にどのような活躍を見せるのか？ ドラマチックな展開に期待が高まりますね。とても楽しみです。

10月 マイクロソフト社のWindows 10およびOffice 2016の延長サポートが終了

2025年10月14日(米国時間) に、Windows 10のサポートが終了します。サポート終了後はセキュリティ更新プログラムの提供がなくなり、セキュリティリスクが高まります。同ソフトウェア製品の利用者においては、サポートが継続している後継製品、または代替製品への移行などの対応が望まれそうです。弊社も早めの対応をして行きます。

11月 東京で耳の聞こえない、聞こえにくいアスリートのための国際的なスポーツ大会「夏季デフリンピック競技大会」が開催

デフ(deaf)は英語で「聴覚障害がある、聞こえない」ことを意味する単語で、デフリンピックは聴覚障害のあるアスリートによる国際スポーツ大会だそうです。障害のある選手のスポーツ大会といえばパラリンピックが有名ですが、パラリンピックに出場できるのは肢体不自由者と脳性麻痺者だけで、聴覚障害のある選手は対象外だそうです。私も初めて知りました。

12月 従来の健康保険証が有効期限切れに

2024年12月2日以降：現行の健康保険証は新たに発行されなくなります。2025年12月1日まで：現行の健康保険証は有効期限内(経過措置期間として有効期限最大1年)においてご利用いただけます。2025年12月2日以降：現行の健康保険証は利用不可となるので気を付けておきたいところですね。

アポロ新聞

2025年4月13日から

日本で開催された万博と大阪・関西万博2025(日本国際博覧会)

「万博」とは、「国際博覧会条約」に基づき、加盟国が参加する「国際博覧会」のことです。

そんな万博が今年は大阪夢洲（ゆめしま）で開催されます。

日本における万博の歴史を振り返りながら、国内6回目となる大阪・関西万博について簡単に紹介します。

代表取締役 家喜 正治

1970年 日本万博博覧会 テーマ『人類の進歩と調和』

岡本太郎氏の「太陽の塔」は全国的にも有名となり、現在でも大阪の観光名所に。日本の高度経済成長を世界に知らしめ、国内でも「万博」は社会現象となりました。

1975年 沖縄国際海洋博覧会 テーマ『海—その望ましい未来』

沖縄の日本本土復帰を記念し、経済・文化振興、国際理解を目的として開幕。世界で初めて海洋をテーマにしたこの博覧会は沖縄が日本に復帰したことを国の内外に示しました。

1985年 国際科学技術博覧会 テーマ『人間・住居・環境と科学技術』

茨城県の筑波研究学園都市で開催。来場者は約2,033万人。リピーターを度外視し、単純計算すると日本人の6人に1人が来場したことに！

1990年 国際花と緑の博覧会 テーマ『花と緑と生活の係わりを捉え、21世紀へ向けて潤いのある社会の創造を目指す』

大阪府大阪市の鶴見緑地公園で開催。インドネシアで採取された世界最大の花、ラフレシアが人気を呼んだ。

2005年 日本国際博覧会 テーマ『自然の叡智』

21世紀最初の国際博覧会であり、日本では大阪万博以来の2回目の総合的なテーマを取り扱う大規模な国際博覧会となった。JR東海のパビリオンである超電導リニア館は記憶に残る人も多いはず。

そして今年...



ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。
Towards a brighter future for all

開催期間 2025年4月13日(日)～10月13日(月) 開催場所 大阪 夢洲(ゆめしま)
Period Sunday, 13 April to Monday, 13 October 2025 Venue Yumeshima Island, Osaka City

大阪湾に浮かぶ人工島・夢洲（ゆめしま）を会場に、世界約160の国と地域が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに様々なパビリオンを出展する。中心部には樹木を植えた「静けさの森」と、映画、音楽など各界で活躍する8人のプロデューサーが手がける八つのテーマ館が置かれる。それを取り巻くように参加諸国や企業によるパビリオンが配置され、その外側にイベント会場を設ける。

注目のパビリオン

01 日本館

世界最大級の火星隕石「火星の石」を展示。入場者が隕石のかけらに触れられるコーナーも設置。JAXAの探査機が小惑星イトカワ、リュウグワから持ち帰った砂も展示する。

そのほかにも10を超える民間パビリオンや160を超える海外パビリオンが最新技術や独自の文化を紹介します。興味のある方は行ってみてはいかがでしょうか。

02 パソナグループ

iPS細胞を変化させた心臓の筋肉細胞（心筋細胞）で作った「iPS心臓」を展示。赤い培養液の中で、直径約2センチの半透明の物体が拍動する。

アクセス



万博会場に駐車場はありません。会場周辺の駐車場もしくは公共交通機関で。